

突哨山運営協議会 2020年度 第13回総会

2020年5月25日 18:30～

旭川市職員会館

出席者 出羽寛 黒川博義 塩田惇 舟橋健 桐一郎 尾崎良司 澤田勇
寺島一男 工藤和彦
旭川市土木部公園みどり課 笹川主査
事務局 中村直人 富岡雅志
委任状 森木邦男 近文第二小学校南向教頭 比布町総務企画課齋藤係長
山本牧

運営委員 18 名中、出席 10 名、委任状 4 名、合計 14 名

議 事

- 1 2019 年度の活動報告
- 2 2019 年度の決算報告
監査報告
- 3 2020 年度の活動計画案
- 4 2020 年度予算案
- 5 規約について
- 6 委員の募集と役員の改選について
- 7 報告事項

1、2019年度の活動報告

経過 2019年 5月20日 総 会
7月22日 第1回協議会
9月17日 第1回臨時総会
12月 5日 第2回協議会
2020年 4月13日 第3回協議会

(1) 森林の取り扱い（指定管理事業）

- ・天然林 A～C：これまでと同様、自然の推移を見守り原則手を入れなかった。遊歩道にかかった、またはかかる恐れのある倒木、傾倒木は伐採し遊歩道脇に集積した。

- ・人工林 D : 今年度の人工林間伐対象は9ヶ所（人工林番号区分）。対象面積は約2ha（20,160 m²）。今回の間伐で2013年から行っている人工林総面積6haの間伐は一回りしたことになります。来年度からは初年度の対象林に戻り、さらに間伐を進めていく予定ですが、エリアに応じた細かい方針を検討したいと考えています。
びびの路周辺のカラマツ林において枯損木の伐倒処理を実施。（2年計画のうち2年目）2020年1月。
- ・草地 E : 遊歩道上への落枝処理、危険木処理を行った。遊歩道以外のササなど草地を維持する活動は無かった。

（2）年間活動一覧

2019年

- ・4月16日 雪上ヒグマ痕跡調査（もりねっと）
- ・4月17日 道道鷹栖東鷹栖比布線第一回意見交換会（比布町）
- ・4月18日 突哨山駐車場トイレ設置（もりねっと）
- ・4月18、19日 花案内人勉強会
＜参加者18日：一般3名、19日：一般4名、教育大インターン3名＞
- ・4月21日 花案内人現地講習会
＜参加者：一般6名、教育大インターン3名＞
- ・4月22日 カタクリ広場ビニールハウスがけ作業（突哨山と身近な自然を考える会）
- ・4月27日 びびの路整備作業（比布町）＜参加者：26名＞
その後も木村さん、澤田さん、桐さんを中心に整備継続
- ・4月27日～5月6日 花案内人活動（もりねっと）
- ・5月 3日 カタクリフォーラム（カタクリ楽団・突哨山と身近な自然を考える会）＜参加者約50名＞
- ・5月 3日 びびの路を楽しもう！ ～春の突哨山ツアー～
＜参加者16名・教委4名・ガイド3名＞
- ・5月 7日 道道鷹栖東鷹栖比布線現地視察（比布町）
- ・5月 9日 近二小3・4年突哨山活動（近二小）ネズミ調査
- ・5月14日 近二小1・2年突哨山活動（近二小）春の突哨山
- ・5月17日 ササカタクリ調査
- ・5月20日 近二小5・6年突哨山活動（近二小）突哨山の歴史
- ・5月20日 第12回総会

- ・ 6月 4日 マイタウンあさひかわ取材（旭川市広報公聴課 HBC）
- ・ 6月 5日 ぴぴの路の草刈り、オオハンゴンソウの抜き取り（澤田さん、桐さん）
- ・ 6月12日 突哨山駐車場草刈り（もりねっと）
- ・ 6月13日 カタクリ広場草刈り（突哨山と身近な自然を考える会）
- ・ 6月19日 遊歩道草刈り（もりねっと）
- ・ 6月20日 扇の沢農機具廃棄物搬出（もりねっと）
- ・ 6月25日 遊歩道、頂上ルート草刈り（もりねっと）
- ・ 6月30日 第一回植生調査
- ・ 7月 8日 近二小1・2年突哨山活動（近二小）突哨山の生き物
- ・ 7月 9日 第二回植生調査
- ・ 7月15日 ぴぴの路の草刈り、オオハンゴンソウの抜き取り（澤田さん、桐さん）
- ・ 7月20日 自然観察指導員研修会 コウモリ観察（北海道自然観察協議会）
＜参加者：15名＞
- ・ 7月21日 トレイルカメラにクマ写り一時閉鎖
- ・ 7月22日 巡回も痕跡なく閉鎖解除
- ・ 7月31日 突哨山ボランティア外来種防除作業（もりねっと）
＜参加者 12名＞
- ・ 8月7、8日 みどりの回廊展（あさひかわ自然共生ネットワーク）
- ・ 8月20日 コウモリ観察会（オサラッペ・コウモリ研究所）＜参加者：9名＞
- ・ 8月22日 近二小3・4年生 森の生き物観察。（もりねっと）
熊出没情報のため東鷹栖14線もりねっとの森で実施。
旭川市環境アドバイザー事業＜参加者14名＞
- ・ 8月26～30日旭川大学高校 理科授業 突哨山自然観察（旭川大学高校）
＜参加者 224名 1年生全クラス、3年生ライセンスコース選択者＞
- ・ 9月2日 近二小5・6年 川の生き物調査（もりねっと）
熊出没情報のため石狩川永山橋左岸広場で実施。
旭川市環境アドバイザー事業＜参加者16名＞
- ・ 9月5日 近二小3・4年生 焚き火体験（もりねっと）
熊出没情報のため東鷹栖14もりねっとの森で実施。
旭川市環境アドバイザー事業＜参加者13名＞
- ・ 9月9日 近二小5・6年生 間伐体験（もりねっと）
熊出没情報のため東鷹栖14もりねっとの森で実施。

旭川市環境アドバイザー事業＜参加者16名＞

- ・ 9月10日 大有小学校 間伐体験（大有小学校）
＜参加者：6年1組29名、引率教員3名＞
- ・ 9月11日 近二小1・2年生 森の宝探し（もりねっと）
熊出没情報のため東鷹栖14もりねっとの森で実施。

旭川市環境アドバイザー事業＜参加者16名＞

- ・ 10月 3日 大雪山山守隊活動見学 愛山溪温泉～当麻乗越（もりねっと）
- ・ 10月 5日 旭川刑務所駐車場にクマ足跡確認。一時閉鎖し巡回するも痕跡なし。閉鎖解除。
- ・ 10月24日 突哨山現地検討会 ＜参加者 協議会2名 もりねっと3名＞
- ・ 10月27日 突哨山秋の間伐体験～森を元気にするお手伝い～
（もりねっと）＜参加者 一般5名 もりねっと3名＞
- ・ 10月28日 山頂看板にメッセージ設置
- ・ 10月30日 カタクリ広場草刈り（もりねっと）
- ・ 11月 3日 芋煮会（突哨山と身近な自然を考える会）＜参加者 40名＞
- ・ 11月11日 突哨山駐車場トイレ撤去（もりねっと）
- ・ 11月12日 ゆうちょ銀行通帳の住所および登録印変更完了
- ・ 11月17日 突哨山ボランティア遊歩道整備（もりねっと）
＜参加者 協議会1名 一般5名 もりねっと3名＞
- ・ 11月24日 突哨山樹木調査（もりねっと）
＜参加者 協議会2名 一般2名 もりねっと3名＞
- ・ 12月 4日 道道鷹栖東鷹栖比布線意見交換会（比布町）
＜参加者 協議会6名 もりねっと2名＞
- ・ 12月 1日 間伐体験～クリスマスツリーのおすそ分け～（もりねっと）
＜参加者 一般20名 麦の子会8名＞
- ・ 12月9～23日 人工林間伐（もりねっと）

2020年

- ・ 1月14、16、21日 ぴぴの路カラマツ除去作業（もりねっと）
- ・ 1月27日 近二小1、2年生突哨山活動
かんじき歩き、焚き火（もりねっと）
- ・ 2月19日 ガイドマップ検討会

（3）比布町の取り組み

2019年

- ・ 3月 8日 2019年度活動計画会議（役場福祉会館）

もりねっと(中村)、教委(齋藤・厚木)、総務企画課(千葉)、産業振興課(篠原)
突哨山運営協議会(木村・桐・澤田)

- ・ 4月14日 ぴっぷの自然たんけん隊 春の雪山突哨山ツアー（比布町公民館）＜参加者：子供17名、大人10名、スタッフ8名＞
- ・ 4月24日 国道40号線（基線4号）に、村上山公園への案内看板（2つ）を設置 桐・澤田
- ・ 4月27日 ぴびの路整備作業（比布町）＜参加者：26名＞
- ・ 4月28日 ぴびの路のベンチ作り・橋の修理・入口の車止め杭を追加設置
木村・桐・澤田の3人（もりねっと中村 車止め杭をチェーンソーで切断）
- ・ 4月29日 ぴびの路の法面の笹刈り 桐・澤田
- ・ 5月 1日 ぴびの路 散策路の小枝などの除去作業 桐
- ・ 5月 3日 ぴびの路を楽しもう！ ～春の突哨山ツアー～
＜参加者16名・教委4名・ガイド3名＞
- ・ 5月 8日 村上山公園の記念桜についての調査
役場産業振興課 石川・篠原、木村・桐・澤田
記念木の現状、周辺環境及び整備、植樹などについて話し合う
- ・ 5月 9日 「ぴびの路」にクマ監視用カメラを設置 産業振興課 篠原
- ・ 5月18日 突哨山と身近な自然を考える会の『野の花部会』観察会
村上山公園まで来る。「ぴびの路」のエンレイソウ属の観察
- ・ 5月27日 情報ボックスに「熊除け鈴」を設置(もりねっと)
- ・ 6月 5日・7日・8日・10日・18日
ぴびの路の草刈りとオオハンゴンソウの抜き取り 桐・澤田
- ・ 6月 6日 国道の案内看板を収納 桐
- ・ 6月 7日 村上山公園の東屋にスズメバチの巣を確認。
産業振興課に連絡、駆除
- ・ 7月15日・29日 草刈りとオオハンゴンソウの抜き取り 澤田
- ・ 8月 4日・13日・15日・19日・22日・26日・27日
村上山公園口法面のヤナギ・ニセアカシヤ・オオハンゴンソウを刈払機で駆除
- ・ 8月10日 村上山公園展望台にスズメバチの巣を発見(桐)。
役場に連絡、注意看板の設置と専門業者による駆除
- ・ 8月30日 村上山公園の草刈り（階段からトイレ周辺）
- ・ 9月 2日・12日・13日
オオアワダチソウの刈り取り(エゾエンゴサクの生息地)
- ・ 10月16日・17日・18日 急な斜面のニセアカシヤの駆除(桐)
- ・ 10月21日 ニセアカシヤの駆除（桐・澤田）

- ・ 10月29日 オオハンゴンソウの抜き取り
- ・ 11月06日 クマの監視用カメラ（3カ所）を回収する
「ぴぴの路」に設置した監視カメラ（3台）を役場篠原と確認
- ・ 11月11日 情報ボックスの冬囲い（桐）

2020年

- ・ 3月11日 2020年度活動計画会議
もりねっと中村、桐・澤田
総務企画課まちづくり推進室—千葉主任
産業振興課林務課—篠原
教育委員会社会教育係—齋藤

中村 比布町の取り組みについては澤田さんから資料を頂戴したものです。

出羽 ここまでのところで何かありますか。

全員 特になし

出羽 ぴぴの路の横の元いちご畑のところで、タヌキの死骸を桐さんが見つけました。腹部が食べられた形で2頭並んで死んでいた。少し腐乱しかかっていた。2頭並んで死んでいた原因がよく分からない。キツネに襲われたのではないかという意見もありましたが、キツネがタヌキを襲うかは分かりません。キツネは足跡も多くあるしたまに見かけるが、タヌキは夜行性が強かったり冬はあまり活動しませんから姿を見る事は珍しいんですが、いるんですよね。

澤田 タヌキの死骸は印をつけて埋めてあります。

（4）2019年度に実施された研究調査

- ・ オサムシ捕獲調査 2019年5月～6月
北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 苫小牧研究林
奥崎 穰 氏

研究の現状をお伺いしたところ以下のような回答をいただきました。

申し訳ありませんが、まだ研究の途中であるため、突哨山のオサムシの調査に関する研究成果は出ておりません。
私は現在、北海道全域でオサムシ類を採集し、その系統と体色変異の関係を明らかにする研究を行っております。
突哨山もその調査地の1つとして、おかげさまで十分数のオサムシ類を採集できました。
しかし、北海道は広く、また体色変異を示す種(オオルリオサムシ)が通常、高密度で生息していないため、まだ北海道全域での採集が完了しておりません。今年こそその採集を完了できるように頑張ります。
採集が完了した後、分子系統解析や体色の測定を行い、そのデータで論文執筆して、学術雑誌に掲載されれば、成果として公表できます。ですので、成果を提出できるのは早くても数年先になると思います。
すいませんが、もう何年か待っていただけないでしょうか。
私事ですが、4月から東京大学に異動しました。どうぞよろしくお願いいたします。

・コウモリ捕獲調査 2019年7月～11月

オサラッペ・コウモリ研究所

出羽 寛 氏

＊7月20日 ヒメホオヒゲコウモリ オス成体1頭捕獲 測定後放逐
(自然観察指導員研修会 コウモリ観察会)

出羽 コウモリ調査は観察会を中心にやっています。

中村 旭川市に捕獲・採集調査の申請を出したものについてここに掲載しています。

出羽 昨年は2度実施しています。1つはオサラッペコウモリ研究所主催ですが、もう一つは自然観察協議会主催のものです。

(5) 研究調査結果の還元

・ナニワズ調査 2017年4月～2018年6月

「被子植物における性システムの進化：ナニワズの研究例」

北海道大学環境科学院 生物圏科学専攻 植物生態学コース

柴田あかり 氏

北海道大学地球環境科学研究院

工藤 岳 氏

→2020年4月学位論文として審査中。6月に学位取得予定。

非公表を条件に学位論文の提供がありました。

希望される方には配布いたします。(全文英語104ページ)

「要旨」(日本語)については別紙を参照ください。

添付資料1

・ミミズと土壌の調査 2017年7月～8月

「北方林におけるミミズ群集が土壌団粒に及ぼす影響の解明」

北海道大学環境科学院 河上智也 氏

→2017年修士論文としてまとめ（日本語33ページ）

希望される方には配布いたします。

出羽 北大の方が多いですね。後で出てきますが、今年旭川教育大の学生がカタクリとセイヨウオオマルハナバチの盗蜜の影響の調査を行っています。いろんな調査が突哨山で行われるようになってきて大変喜ばしいことです。突哨山で調査を行った研究については成果を還元してもらうことになっています。今回、幾つかの研究成果を還元していただいたという形になります。いずれこういう成果をどこかで話してもらう機会があったら面白いんじゃないかと思います。

この件で何かありますか。

寺島 このナニワズの研究について、突哨山はどういう特徴を持っているか、というのはありましたか。

出羽 突哨山については要旨には書いていなかったですが、ナニワズの南限にあたり調査にはいい場所だということだと思います。詳しい内容は100ページの英文を読んでもらうしかないですね。

中村 調査をした方に来てもらって直接話してもらうのも面白いと思います。

舟橋 突哨山だけの特徴があれば面白いと思います。

（6）外部団体による外来生物対策

・春先のセイヨウオオマルハナバチのモニタリングと防除活動

（大雪と石狩の自然を守る会・大雪山マルハナバチ市民ネットワーク）

・アライグマ駆除

（旭川市生物多様性保全推進協議会・旭川市環境部・農政部）

突哨山内でのアライグマの捕獲はなかったが、クマ調査用のトレイルカメラで数回撮影された。

また2019年度（令和元年度）東鷹栖地区でのアライグマ捕獲頭数は34頭だった。（旭川市環境部提供）

扇の沢ルート「2番」

2019年8月1日午前4時19分



2019年8月2日午後9時46分



びびの路「F番」(村上山公園口付近)

2019年7月9日午前3時24分



2019年7月14日午前0時46分



2019年8月14日午前1時7分



令和元年度 捕獲状況等報告書 (アライグマ:農地)

捕獲数:16頭

月日	曜日	雌雄	体重	場所	現況	備考
5月15日	水	オス	8.0	東鷹栖1線19号	農地	
7月3日	水	オス	6.3	東鷹栖5線11号	農地	
8月1日	木	オス	3.0	東鷹栖14線20号	農地	
8月5日	月	オス	1.4	東鷹栖5線11号	農地	
8月5日	月	オス	1.7	東鷹栖5線12号	農地	
8月5日	月	メス	1.7	東鷹栖5線12号	農地	
8月8日	木	メス	2.1	東鷹栖5線12号	農地	
9月24日	火	メス	4.1	東鷹栖14線20号	農地	
10月7日	月	オス	3.8	東鷹栖5線11号	農地	
10月15日	火	オス	4.8	東鷹栖5線11号	農地	
10月18日	金	メス	5.0	東鷹栖14線20号	農地	
10月23日	水	メス	3.8	東鷹栖14線20号	農地	
10月28日	月	メス	4.0	東鷹栖5線11号	農地	
10月28日	月	メス	4.0	東鷹栖5線11号	農地	2頭捕獲
10月10日		オス	4.7	東山2857	農地	

令和元年度 捕獲状況等報告書 (アライグマ:非農地)

捕獲数:18頭

月日	曜日	雌雄	体重	場所	現況	備考
5月24日	金	オス	4.2	東鷹栖10線23号	山林	
5月27日	月	オス	0.5	東鷹栖8線18号	建屋(無人)	
5月27日	月	オス	0.5	東鷹栖8線18号	建屋(無人)	
5月27日	月	オス	0.5	東鷹栖8線18号	建屋(無人)	
5月27日	月	オス	0.5	東鷹栖8線18号	建屋(無人)	
5月27日	月	メス	0.5	東鷹栖8線18号	建屋(無人)	
5月27日	月	メス	0.5	東鷹栖8線18号	建屋(無人)	
5月27日	月	メス	0.5	東鷹栖8線18号	建屋(無人)	
5月27日	月	メス	0.5	東鷹栖8線18号	建屋(無人)	
5月28日	火	メス	6.2	東鷹栖8線18号	建屋(無人)	
6月3日	月	メス	3.9	東鷹栖10線23号	山林	
6月17日	月	オス	9.8	東鷹栖10線23号	菜園	

7月29日	月	メス	5.5	東鷹栖 10 線 23 号	菜園	
8月5日	月	オス	1.7	東鷹栖 10 線 23 号	菜園	2 頭捕獲?
8月5日	月	メス	1.7	東鷹栖 10 線 23 号	菜園	
8月21日	水	オス	8.6	東鷹栖 13 線 23 号	菜園	
9月6日	金	オス	3.8	東鷹栖 13 線 23 号	菜園	
9月12日	木	オス	7.9	東鷹栖 10 線 16 号	建屋(無人)	
10月28日	月	オス	5.0	東鷹栖 13 線 23 号	菜園	

出羽 マルハナバチ の調査について寺島さん何かありますか。

寺島 今年で最終年になります。来月半ばまで調査をするので、それが終わったらまとめようと思っています。

中村 調査結果をまとめられましたらデータの提供をお願いします。

出羽 アライグマの方ですが、旭川市生物多様性保全推進協議会の会長は私です。最初、農政部が農家にワナを貸して、かかると農政部に連絡をして取りに行くというやり方が始まった。これが農地。その後、環境部が旭川市生物多様性保全推進協議会において非農地での捕獲を始めた。これが森林組合が積極的にワナを仕掛けるやり方です。非農地の方が経験を積んで効率が悪くなってきています。農地と非農地に分かれているが、実際捕獲されている場所はほとんどが農地です。また環境部ではこのほかにアライグマの個体に電波発信器をつけて行動圏の調査もしています。東鷹栖でこれだけの頭数が捕獲されています。トレイルカメラの写真も合わせて考えると、突哨山の中にもいると言う事が現状です。毎年旭川市では300頭以上捕獲されています。全道では10万頭を超えています。ほぼ定着していると考えていいと思います。

黒川 片山牧場のアライグマはスイカが全滅するほどやられていました。

出羽 片山さんのスイカは自家用ですか。

黒川 自家用だけです。

出羽 他に何かありませんか。

全員 特になし

(7) 自然生態系の調査

・カタクリ開花調査

2019年3月5日～2019年5月6日(10回)。

カタクリの開花情報及び熊情報について指定管理者のホームページで情報提供を行った。「突哨山カタクリ速報」ブログ。

- ・植生調査

ササカタクリ調査 2019年5月17日

林床植生調査 2019年6月30日、7月9日

樹木調査 2019年11月24日

中村 ササカタクリ調査については前回まとめを提出しております。林床植生調査と樹木調査については現在まとめを作っているところです。

(8) 指定管理者による通常管理業務

- ・巡回と危険木、支障木処理

トレイルカメラの点検、ヒグマ痕跡調査

(旭川市環境部、比布町、もりねっと 3者の協力で実施)

雪上での全山ヒグマ痕跡調査

- ・草刈り：突哨山駐車場、カタクリ広場、遊歩道（6月）。

- ・トイレ：①突哨山駐車場：NPO 法人ハートフル21（東鷹栖）へ委託。

②カタクリ広場：突哨山と身近な自然を考える会の清掃、点検。

出羽 ここまでで何かありますか。

全員 特になし。

(9) 情報発信、普及活動

協議会への市民からの意見、要望等の受け入れと協議会からの情報発信

- ・突哨山ガイドマップの編集作業、配布

第10版5000部をガイドマップ検討会にて編集、指定管理者が発行し、
現地の情報ボックスをはじめ、各施設や店舗に配布した。

主な配布先 観光協会まちなか情報センター OMO7（旧グランドホテル）
こども富貴堂 突哨山通信

- ・協議会ニュース

指定管理者のホームページ内で発信。カタクリ速報、イベント告知、協議会
会議事録。

- ・「みどりの回廊展」（8月、あさひかわ自然共生ネットワーク主催）に突哨
山と身近な自然を考える会、もりねっと（指定管理者）が参加し、協議会の
活動をPR。

- ・ブログ発信

- もりねっとのホームページで、突哨山の近況・活動報告を随時発信。
- ・入山記帳ノートによる意見や要望の聞き取りと、協議会への報告。

添付資料 2

中村 びびの路の情報ボックスに設置してあるノートのまとめは澤田さんから提供していただきました。

出羽 ここまでで何かありますか。

工藤和 入山記帳ノートは結構面白いと思います。これはもりねっとのホームページなどに掲載していますか。

中村 これは載せていません。

工藤和 こういうのを紹介すると面白いと思います。

中村 現状、ノートにコメントを記載する方はホームページなどで公開されるとは思っていないので、その旨明示する必要があると思います。

工藤和 名前を除いて公開すれば問題ないと思います。

中村 その辺りの対策を考えて公開していきたいと思います。

出羽 入山者の方とやりとりができれば面白いかもしれないですね。

澤田 昨年オオハンゴンソウの抜き取りをやりましたが、その報告はありますか。

中村 年間活動一覧に載せているだけです。

(10) ヒグマ対策（指定管理事業）

突哨山ヒグマ対応策実施要項策定 2019年5月

トレイルカメラの設置 10台（旭川市、比布町、もりねっと）

突哨山口、カタクリ広場口、村上山公園口に看板、チラシ、貸し出し用熊鈴を設置。扇の沢分岐、木もれ日分岐、びびの路入り口付近にクマよけ用の鐘を設置。

7月（カタクリルート3番カメラ）、10月（刑務所駐車場足跡）に一時閉鎖し巡回するも痕跡なく閉鎖解除。

出羽 ここまでで何かありますか。

全員 特になし

2、2019年度の決算報告、監査報告

2019年度 突哨山運営協議会 決算報告

収 入

科 目	予算額	決算額	備 考
繰越金	37,781	37,781	
運営募金	14,000	12,000	
企画収入			
雑収入			
合 計	51,781	49,781	△2,000 円

支 出

科 目	予算額	決算額	備 考
企画費	45,000	0	活動記録誌未作成
印 刷 費			
通 信 費			
消耗品費			
雑 費			
予 備 費	6,781	0	
次年度繰越金		49,781	
合 計	51,781	49,781	

監査報告書

2019年度の突哨山運営協議会決算について経理簿、通帳、支出関係書類の監査を行った結果、適正に処理されていることを認めます。

2020年 4 月 20 日 監査

工藤 稔 

2020年 4 月 20 日 監査

澤 田 勇 

澤田 4月20日に経理簿、通帳などの監査を行い、適性に処理されていたことを確認いたしました。

出羽 問題がなければ拍手にて承認お願いいたします。

全員 拍手

3、2020年度の活動計画案

(1) 活動予定

- ・5月 4日 カタクリフォーラム（かたくり楽団）
- ・5月14日 ササカタクリ調査
- ・5～10月 野の花観察会（突哨山と身近な自然を考える会）
- ・5～3月 近文第二小学校総合学習（もりねっと協力）
- ・5、10月 遊歩道整備（ボランティア募集）
- ・6月、10月 突哨山駐車場、カタクリ広場、遊歩道 草刈り
- ・7月 外来種抜き取り作業（ボランティア募集）
- ・7～8月、コウモリ観察会（オサラッペ・コウモリ研究所）
- ・8月 みどりの回廊展（もりねっと、突哨山と身近な自然を考える会）
- ・9月 現地検討会
- ・11月 芋煮会（突哨山と身近な自然を考える会）
- ・10、12月 間伐体験（もりねっと等）
- ・12月 人工林間伐

中村 今年度の花案内人活動はコロナの影響で中止といたしました。5月の近二小の総合学習もコロナの影響で中止となりました。5月の遊歩道整備はスタッフのみで実施しました。

尾崎 外来種の抜き取り作業ですが、去年の効果を検証し、もりねっとさんと相談しながら計画を立てて実施したいと思います。5月15日に実施した野の花観察会の時にビロードモウズイカを確認した。みるみるうちに増えるので早めにとっておいた方がいいと思います。みどりの回廊展については、コロナの影響で会議が開けない。文章にて各団体に意見を伺っているところですが、開催は難しいかもしれません。分かり次第お伝えします。

出羽 今日でコロナの規制はある程度解除になります。みどりの回廊点についてはできるだけ早く情報を得られたらと思います。

(2) 情報発信、普及活動

- ・突哨山ガイドマップの配布 第11版5000部作成。

主な配布先 情報ボックス 1000

旭川市観光協会（まちなか情報センター）1000

比布町役場 500

突哨山通信 300

OMO7（旧旭川グランドホテル） 100

嵐山ビジターセンター 100

嵐山公園センター 100

- ・協議会ニュース もりねっとホームページ内
- ・「みどりの回廊展」への参加
- ・もりねっとのホームページ、ブログ、フェイスブックによる情報発信
突哨山の現況・活動報告を随時発信。

出羽 突哨山通信300とはどういうことですか。

中村 突哨山と身近な自然を考える会の会員向けの郵便に同封しているものです。

出羽 ここまでで何かありますか。

全員 特になし。

(3) 森林の取り扱い基本方針に伴う実施計画

- ・天然林 A～C：原則、自然の推移を見守る。
- ・人工林 D：合計16.28haの2周目。林況に応じた間伐作業。
間伐体験イベントの実施。（秋冬の2回予定）
「6番」トドマツ人工林 森林再生観察路の整備継続。
- ・草地 E：原則、自然の推移を見守る。
- ・遊歩道上への落枝、危険木は取り除く。
- ・植生調査：ササカタクリ調査
ササカタクリ調査は5月14日実施。
林床植生調査は2022年実施予定。（3年毎）
樹木調査は2024年実施予定。（5年毎）

出羽 これに関して何かありますか。

全員 特になし

(4) 調査研究

- ・春先のセイヨウオオマルハナバチのモニタリングと駆除活動
(大雪と石狩の自然を守る会・大雪山マルハナバチ市民ネットワーク)
- ・訪花昆虫(マルハナバチ)の受粉状況調査(教育大今村先生)
2020年4月1日～7月30日
- ・微小昆虫(アブラムシ・アザミウマ)調査
(北海道立総合研究機構上川農業試験場 佐々木大介氏 個人)
2020年5月～

出羽 セイヨウオオマルハナバチのモニタリングと駆除活動については先ほど寺島さんからお話のあったように今年が最終年となり、後日まとめられると思います。訪花昆虫についてはセイヨウオオマルハナバチの盗蜜がカタクリの結実にどういう影響を与えるかの調査です。なかなか難しい調査です。今村先生が故郷の京都に帰ったきり、コロナの影響で北海道に戻ってこられなくなっています。先生からの依頼で調査区の設定まではお手伝いをしました。今年はネズミによるカタクリの花の捕食が多く、それをきちんと測定しないと調査結果に影響が出るとアドバイスはしました。その後調査がどうなったのか確認はできていません。微小昆虫は面白い結果が出てきそうな調査です。

他に何かありますか。

全員 特になし。

(5) 突哨山運営協議会活動記録誌のまとめ

2020年1月時点 原稿の8割程度が提出されている

出羽案

問題の一つは、突哨山運営協議会、もりねっと北海道、突哨山と身近な自然を考える会が混じり合っていることです。それでこの3つの団体の活動は流れとして切り離すことが難しいので、タイトルは「突哨山運営協議会および市民団体の活動記録誌」として、それぞれを区別することを原稿のはじめに示すことでどうか？

寺島案

資料の整理と年表の作成にかかっています。作業をされていて感じましたが、突哨山をめぐる運動はその運動量は別として、個人、身近な自然を考える会、(大雪と石狩の自然を)守る会、運営協議会、学校教育関係、もりねっと等と多岐の分野が係わり相互に影響し合っています。この際、協議会と市民団体として無理

に分けるよりも、「突哨山の地域運動史」としてまとめるのはどうでしょうか。運営協議会の記念誌としてスタートしましたが、これまでの歩みを考えるとその方がスムーズに整理できそうです。その記録を運営協議会が発行するスタイルにすればよいと読む方にとってもその方が全体像が掴み安いと思われます。地域における一連の突哨山の自然を守る活動は、自然保護だけでなく地域のあり方を問う大事な記録（歴史）で、この先改めてこの視点からまとめ直すことは無理と思われます。ならば少し欲張って、とはいってもこれまでの企画に少し肉付けをするだけで、発行は可能と思います。

出羽 活動記録誌のまとめをしていく中でいくつかの団体が活動をしており、それぞれを切り離すことが難しいと感じました。寺島さんと相談した結果「突哨山の地域運動史」としてまとめるのはどうかという提案がありました。非常にいいと思いますが、「突哨山の地域運動史」となると、突哨山の昔の開発から始まるのかなと言う気もして、そこまで広げるのはちょっと無理かもしれません。ですから「地域運動史」か「地域運動の記録」かということでもいいのではないかと思います。寺島さんから一言お願いします。

寺島 ゴルフ場の開発を阻止したという記録はたくさんあるが、市民がどう関わってきたのか、その後市民がそれをどう活かしたのかという内容のものがありません。そういう意味で残した方が運動史としても面白いし、読む方も、ゴルフ場の開発から守られた突哨山を突哨山運営協議会が行政と関わりながらどのように進展しているかという話の方が面白いのではないかと思います。

出羽 そういうことで、年表の構成なども少し変えながら進めていきたいと思います。新しい運営委員に対しても地域の資源を今後どのように活かしていくか、ということにつながっていくかもしれません。いろんな意味で面白いと思います。

工藤和 「活動史」ではなく「運動史」としているところに意志が現れている気がします。「活動」というより「運動」の方が力強い感じがします。ただ「運動」とした時に色合いがどういうものになるのでしょうか。一方的な視点だけじゃなく、多様に見た視点があつた方が見るものとしては面白いような気がします。面白いので私は本にして欲しいぐらいです。

出羽 過去に本にしようという話もあった。今後その可能性も出てくるかもしれませんが。「運動史」となると、どこから始まるかが問題です。突哨山の歴史を全部網羅するのは無理だと思います。前史として触れてもいいと思い

ますが。そういう形で進めたいと思いますが、原稿のお願いをした人を中心に日程を決めて進めていきたいと思っています。

4、2020 年度の予算案

2020年度 突哨山運営協議会 予算案

収 入

科 目	2019 年度予算	2020 年度予算	備考
繰越金	37,781	49,781	
運営募金	14,000	14,000	
企画収入			
雑収入			
合 計	51,781	63,781	

支 出

科 目	2019 年度予算	2020 年度予算	備考
企画費	45,000	60,000	記念誌作成他
印 刷 費			
通 信 費			
消耗品費			
雑 費			
予 備 費	6,781	3,781	
合 計	51,781	63,781	

＊通信費は指定管理者が負担します。

- 出羽 活動史は今年中になんとか作成をして予算を消化したいと考えています。
- 中村 運営募金として一人1000円受付いたしますのでよろしくお願いいたします。
- 出羽 予算案としてよろしければ拍手で承認お願いいたします。
- 全員 拍手

5、規約について

2019年度に改正のあった内容は次の通りです。

- ・令和元年5月20日改正

第7条（総会）に第2項、第3項を追加。

- ・令和元年9月17日改正

（所在地）を第2条として追加し、以下条項番号を繰り下げ。

添付資料3

出羽 これについてはよろしいですか。

全員 特になし

6、委員の募集と役員の改選について

- ・委員の募集

運営委員への応募は2名ありました。

ご検討お願いいたします。

添付資料4

出羽 新委員については役員会で検討し、この総会で承認をいただくということになっています。この総会の前に役員会を実施し検討をしました。悪意を持って入ってくる人がいれば問題外ですが、規約上応募があれば加入できることになっています。以前、薪割りのお手伝いをしたいという方もいました。やはりきちんと理解して入っていただくということが必要ではないかと思います。武井七海さんは比布町の木村さんの紹介で、応募用紙を見ても非常に積極的です。高橋敏雄さんは一度電話で話しただけで、応募用紙にあまり詳しい記載がありません。やはり一度お会いして協議会の性格をきちんと伝え、理解していただいた上で入っていただく方がいいと思います。そういうことでよろしいでしょうか。

全員 了承

出羽 今後、今の規約では興味を持って来た方は誰でも加入できます。この協議会は単なる任意団体ではなく、市民、行政、指定管理者からなる組織です。加入に際し、もう少しクッションと言いますか、オブザーバーの

ような形で色々なイベントに参加してもらいながら加入していただいたらどうでしょうか。今回応募のあったお二人にササカタクリ調査へお誘いしましたが都合が悪く参加できませんでした。そういったことも今後考えていてもいいと思います。そういったことで今回の２名に関しては一度お会いしてからということにいたします。

- ・新委員の募集は２年に一度公募により実施しておりましたが、応募件数が少ないことから毎年の募集にすることを提案いたします。

出羽 これまでは役員の改選年に合わせて２年に一度新委員の募集を行ってききましたが、応募が少ないことから毎年募集してはいかがでしょうか。

全員 意義なし。

- ・役員の改選について
本年度は２年に一度の役員の改選年です。
ご検討お願いいたします。

添付資料５

出羽 そろそろ会長も変わっていいんじゃないかと思うんですが。いかがでしょうか。また、森木さんから退会の希望がありました。農作業が忙しく、昨年黒川さんに相談があったそうです。規約上退会は自由ですので認めたいと思います。よろしいでしょうか。

全員 意義なし。

出羽 役員改選についてはどうでしょうか。事務局から提案ありますか。

中村 現在の役員を変えた方がいい、または変わりたいという方はいらっしゃいますか。いなければ現状のままということでよろしいでしょうか。

出羽 では、現状のままということでよろしいでしょうか。よろしければ拍手で承認をお願いいたします。

全員 拍手

７、報告事項

（１）新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について

国や道から発せられた緊急事態宣言を受け、以下の対策を取りました。

今後も北海道や旭川市、比布町からの要請に沿った形で会議やイベントを実施していこうと考えています。

- ・ 2019年度第3回協議会を3月16日から4月13日へ延期。
出席者はマスクを着用し、座席の間隔を2m以上空け実施した。
- ・ 花案内人ボランティアガイドの中止
4月16、17日の勉強会、19日の現地実習及び4月25日から5月6日までのボランティアガイドを中止した。
- ・ 突哨山ボランティア遊歩道整備の中止
4月18日実施予定のボランティアを募っての遊歩道整備を中止し、関係者のみで行った。

(2) これまでの活動報告

- ・ 4月17日 突哨山駐車場トイレ設置（もりねっと）
- ・ 4月18日 遊歩道整備作業（もりねっと）



「5番」ベンチ補修



頂上「7番」ベンチ新設



稜線分岐ベンチ更新



谷渡りルート橋更新

- ・ 4月19日 カタクリ広場ハウスがけ作業（突哨山と身近な自然を考える会）



- ・ 4月24日 比布トンネルカタクリ移植場所視察



添付資料6

出羽 開発局で出しているカタクリ移植の資料は大変興味深いので是非読んでみてください。

- ・ 5月14日 ササカタクリ調査



(3) 今後の予定

- ・突哨山駐車場、遊歩道の草刈り（もりねっと） 6月
- ・カタクリ広場草刈り（突哨山と身近な自然を考える会） 6月
- ・外来植物抜き取り作業 7月
- ・第1回協議会 7月後半

中村 外来植物の抜き取り作業はオオハンゴンソウの種ができ始める前ということ考えると7月いっぱいまでに実施すればよろしいでしょうか。

尾崎 昨年は7月31日に実施しています。大体そのぐらいで大丈夫だと思います。コロナも少しはおさまるのではないのでしょうか。事前に相談して決めましょう。

工藤和 入ったばかりでわからないことが多いんですが、そもそも突哨山は公園なんですよ。人に自宅の場所を尋ねられると、男山自然公園の近くなんです、と説明する。でも実際、男山自然公園というのはほとんど開いていない。そこに住んでいる人間として、そういう説明をしていることが何なんだろうと強く思います。バス停にしても「男山自然公園」のバス停はあっても「突哨山入口」のバス停はない。これからあそこの場所を活用していこうと考えた時に「男山自然公園の近く」じゃない言い方ってないのかなと思います。これまでそういうことをどれだけ議論してきたのか分からないのでこういうこと言うんですが、そこに住んでいる人間としては「男山自然公園」ではなく未来に向かった言い方がいいような気がします。私はまだまだ歴史の浅い住人なので単にそう思うだけなのかもしれませんが、そういった議論を何かの機会にするか、終わった議論ならそれはそれでいいんですが。こういう議論はこの協議会でしかできないと思います。

出羽 とても面白い視点だと思います。ただ、バス停の名前を変えるとすれば男山酒造は反対するでしょう。最初にこの運動が始まった頃は突哨山という名前がほとんど知られていなかった。男山はみんなが知っている。そういった歴史的経過があるのでバス停の名前などがそうになっている。突哨山自体広まってきていると思う。

工藤和 突哨山は字を入力する時に変換しにくいんです。

塩田 男山自然公園は男山酒造の私有地ですよ。ゴールデンウィークの前後しか開いていない。ほとんど閉まっている。そういう意味で男山自然公園の名前が多く出てくるとちょっとね。

工藤和 「突哨山」と言われても「羊蹄山」などと同じような響きなんですよ。ね。「突哨山自然公園」とか、「突哨山遊歩道」とか、言い方は分かりませんが、ここが市民の人たちが憩える場所なんだという名称というか、エリア区分というか、簡単に言ったら名称だけなんですけど。なんとか山とかなってしまうと登山経験者じゃないとなかなか入れないという雰囲気があるので。

出羽 何かの機会に検討したいですね。

寺島 市の分類では自然緑地となっているが、名称としてちゃんとした名前がないんですよ。嵐山は特殊公園（風致公園）「嵐山公園」となっている。

出羽 例えば、ゴルフ場の反対運動が起こした時に緑の岬という言葉があった。旭川市の緑の回廊の北側の要。色々な生き物が河川を伝って入ってくる、そういう意味も含めて、そういう言葉を使った。「緑の岬」だけでは突哨山を言い表せないが、何かいい呼び方があれば。

工藤和 突哨山は突哨山でその後続く言葉があればいいと思います。

中村 私は2011年に旭川に来ましたが、最初に突哨山のことを知ったのが、テレビのニュースと新聞で男山自然公園のカタクリが見頃を迎えました、とやるのを見てからです。毎年ニュースで取り上げられるから男山という名前の認知度が高いのではないのでしょうか。

工藤和 突哨山全体が男山自然公園だと思われてしまう。

中村 男山という名前の山だと思っている人もいます。

舟橋 私もそう思っていて、突哨山を公園だと思っていない人もいるのではないのでしょうか。旭川市の公園という冊子、緑地協会が作ったものがあります。その中に突哨山が入っていない。最近はあまり見ていないが、当時、突哨山が入っていないのはおかしいんじゃないかと言った事がある。

中村 公園とつけた方がいいんじゃないのでしょうか。

舟橋 公園とつけた方が親しみが湧くからいいと思います。公園がつかないと、開発もされていない山のような感じを受けてしまう。男山自然公園に対抗するということとは関係なく、突哨山は公園という認識を広めた方がいい。

工藤和 どちらかというと突哨山全体が一つの公園として認識されて、その中に男山自然公園も含まれるという考え方がいいのではないのでしょうか。例えば、名称が決まれば SNS などでハッシュタグをつけて「突哨山なんとか公園」でどんどん認知されていくと思います。位置情報でもそういうふうにしておけば活動していない男山自然公園よりは断然名前が出てくると思います。これでみんな認知してくださいという名称がしっかりすればいいと思います。

出羽 工藤さんのところは「ウラヤマクラシテル」という面白い名前ですね。

工藤和 名称によってみんなの意識が変わってくると思います。例えば「突哨山市民公園」にすれば市民活動によってできた公園というイメージがつけられる。

出羽 今度、名称のアイデアの出し合いをしましょうか。

尾崎 突哨山は旭川市の公園の中に入っていますか。

中村 入っています。

出羽 ゴルフ場の業者から旭川市が買い取った時に環境部に行くか公園みどり課に行くかどっちかだったんです。公園みどり課に行ったことで一木一草取ってはいけないことになったんです。環境部だったらまた違っていたが、公園みどり課の所管となり、はっきりと公園となっている。比布町側は別ですが。

黒川 昔のことですが、突哨山という名前は全く知りませんでした。当時は牧場山と言っていました。突哨山という名称で呼ぶようになったのは相当最近です。

出羽 突哨山という呼び方はいつから始まったのでしょうか。

黒川 名前は最初から突哨山だったんでしょう。男山は大正 2 年に買い取ったんです。4 年、8 年に男山神社を作ったんです。その頃からあそこは男山と呼んでいます。

出羽 歴史班で調べませんでしたか。

黒川 今言ったようなことはあまり調べていませんでした。2000 年に旭川市と比布町が買い取った時に旭川市の所有地だけを公園にしました。突哨山と言った場合、比布町側も 4 割ぐらい入っています。その辺の使い分けを、例えば突哨山自然公園とした時にどういうふうにするか。運動は比布

町の人と一緒にやっているわけですから。公園は旭川市だけです。比布町は公園に指定していません。

出羽 その辺りは何かやり方がありそうな気がします。旭川市と比布町で違いはありますが、内容としては比布町も一緒にやってきているので、どう連携できるかですね。

寺島 そういう事実関係をきちんと調べてからですね。

出羽 面白い提案が出てきていますので、また検討しましょう。今日はこれで終わります。

中村 7月の協議会を決めたいんですが。

出羽 7月20日（月）でいかがでしょうか。

全員 意義なし

出羽 では、これで終わります。お疲れ様でした。

以上